

広報明誠

◆◆第89号◆◆

平成22年3月1日

日本大学明誠高等学校後援会



明誠高校から見える富士山 提供：伊垣幸雄教頭先生

主な内容

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| ○一年間を振り返って……会 長……2 | ○体育祭 …………… 9,10,11 |
| ○一年を振り返り……学校長……3 | ○研修会報告 …………… 12 |
| ○離任の挨拶 …………… 前事務長 ……4 | ○強歩大会 …………… 13,14 |
| ○着任の挨拶 …………… 事務長 ……5 | ○お知らせ …………… 15 |
| ○一年間を振り返って……学年主任……6,7 | ○後援会活動報告・編集後記 ……16 |
| ○バザー報告 …………… 実行委員長 …8 | |

平成21年5月の後援会定時総会において会長に就任してから、この広報誌が発行される頃には早いもので一年が経とうとしております。生徒達が卒業を迎え将来の希望を胸に飛び立ちました。米国のサブプライムローンに端を発した経済不況の中、我が国では昨年夏に政権交代をしたものの、未だ不透明な経済状況の中、今後の政策に期待をするところであります。

この間就任の挨拶で述べましたように、江商人の言葉を借りて「三方よし」という話をさせて頂きました。学校よし、生徒よし、そして後援会よし。まさしくこの言葉の通り我が明誠高校は校長先生を始めとする先生方の努力により素晴らしい学校へと発展を続けている事を今、肌で実感しております。まさに先生方の人間力の団結の結果ではないでしょうか。私も卒業生の一人といたしましてうれしく思うと共に誇りに感じております。

この一年を後援会の各事業を通して振り返りたいと思います。最初の行事といたしまして、6月27日・28日に行われました誠祭のバザーです。望月実行委員長のもとバザーの商品も昨年以上の商品を集めることができました。この場をお借りいたしまして商品をご提供いただきました教職員の皆様方、後援会OB・後援会会員の皆様方に会長といたしまして心より御礼を申し上げます。前日に会場となるテントの設営、お茶処の準備、商品の値段付け等の準備に追われました。2日間にわたり販売をする商品の値段付けでは「この商品いくらなら買って貰えるかな？」など議論を重ねながら手際よく作業を行いました。当日は予想以上の地元のお客様が来場をして下さり多くの方々に賑わい大盛況でした。

「毎年楽しみにしているのよ」と言う方もおり地元との交流という面でも多少貢献ができたのかと、少々うれしく思いました。グラウンドに設置されたテントの屋台では、保護者や他校の生徒が来場してとても賑やかな様子でした。各屋台からの出張販売も積極的で我々のところまで来てくれ、わたし達とも気軽に話をしてくれたことがとても嬉しく印象的でした。そしてどれ

も大変美味しかったです。

ボーリングゲームで楽しませてもらったことも忘れられません。保護者の皆様も普段目にする事のない子供たちの姿を見ることができたのではないかと思います。又各クラスの個性のあるTシャツも目を引きました。

次の事業として、12月12日に行われました強歩大会の支援事業です。山崎実行委員長のもと準備の打ち合わせを重ね、前日に鍋釜の設営、食材の仕込みを行いました。後援会OBの方も応援に駆けつけて下さいました。本年は昨年とコースも変わり先生方も心配をなさっておりました。我々も例年以上の打ち合わせも重ね生徒の皆さんの安全に協力をさせて頂きました。尚、本年は昨年の生徒の皆さんからの意見でコースにトイレが欲しいとの要望により後援会小侯統括副会長に協力をして頂きコースにトイレ設置を致しました。ゴールをした生徒達がトン汁とおにぎりを食べ「おいしい、おかわり」と声をかけてくるその笑顔にほほえましさを感じました。尚、今年は来年受験をする生徒や保護者の皆さんにも食べて頂きました。M ガーデンで親子で食べている姿を見て少しでも明誠高校の温かさが伝わったかと思えます。そして最後の一人までゴールを見守る校長先生をはじめとする先生方、生徒達の心の温かさを感じると共に大変感銘を受けました。

最後の事業は卒業謝恩会です。本年も3月1日の卒業式後京王プラザ八王子にて行います。現在準備に追われておりますが、この広報誌が発刊される頃には盛大に行われている事と思えます。

最後になりますが、未熟な私故、いたらない点多々あった中、後援会活動に多大なるご尽力・ご協力を頂きました役員、委員並びに校長先生、事務長、経理長はじめ教職員の皆様方、学校関係者の皆様方、そしてご理解を賜りました後援会会員・関係各位に心より敬意と感謝を申し上げますとともに、今後の明誠高校の発展、後援会の発展をお祈り申し上げます。一年間会長といたしまして皆様にお世話になり誠にありがとうございました。

ご卒業おめでとうございます。今日卒業を迎えられた皆さんと三年前私も一緒に入学式にのぞみました。桜の花が一面に咲き誇り、春の息吹をあちこちに感じられました。早いもので三年が経ちました。あらためて時の経つ早さに驚いています。春はもうすぐそこです。新しい一步を踏み出すあなた方に合わせるかのように、春の足音が聞えるようです。今日の日をむかえられ感激もひとしおかと思われま。次の進路に向け新たな気持ちがわきあがっていることでしょう。卒業生の活躍を皆で祈っております。

三年生にとって春一番の行事が球技大会でしたが、あいにくの雨で流れてしまい残念でした。四月ははっきりしない日が多かった。五月には山梨県総体が開催され関東大会、全国大会目指して各クラブの活躍が楽しみであった。どの会場も熱い応援がかわされていた。六月に入り多摩センターにて芸術鑑賞教室。学校の梅の木に今年も実がしっかりとついている。そろそろ梅の収穫が始まる。毎年近所の方も楽しみにしている。この頃になると生徒達も学園祭の準備で忙しくなる。本校の壁画作成に段ボウルを下げてくる生徒が目につきだす。三年生にとってはひとつひとつの学校行事が最後となる。教育実習を終えた実習生も一緒に準備の手伝いをしてくれた。すっかり生徒にとけ込んでいる。この学園祭に後援会の方々が華をそえてくれる。後援会主催のバザーは今年も好評であった。次年度本校を受験希望する生徒、保護者も本校の雰囲気をつかみに来てくれた。自然環境の良さと、生徒、保護者が一体となる姿に明誠の良さを感じ取ってくれたはず。三十度を越える熱い中での学園祭であったが三年生が特に楽しそうでした。クラスごとに工夫が見られた。毎年のことですが早めの準備がすべてです。今年も日本大学から全学部が学部紹介に協力してくれ、連日情報を求めて生徒、保護者でにぎやかであった。七月の校内学力テストが終ると夏休みはすぐそことなる。三年生にとっては次の進路を決める大事な時期となる。下級生にバトンタッチするクラブも出てくる。

夏休みに入り七月の後半に本校でもインフルエンザ感染者が出てその対応に追われる。二回目のオープンスクールも中止。学校が一時閉鎖されクラブ活動にも影響がでてきた。このような落ち着かない中、吹奏楽部が関東大会の出場権を獲得する。大会前の日に練習解除の状況であったが見事な結果を出してくれた。合宿セミナーから帰ると夏休みもそろそろ終わりとなる。

九月になると牛倉神社のお祭りのお囃子が聞かれる。吹奏楽部の西関東大会が開かれ本校生徒のすばらしい演奏で銅賞を取る。一学期の期末テストを終え一学期終了。二号校舎耐震工事も無事終了。廊下、階段そして外壁がきれいになり見違えるようにあかるくなった。台風18号により延びた体育祭が翌週行われた。今年は三年生がまとまりを見せてくれた。応援合戦をはじめすばらしい盛り上がりを見せてくれた。保護者対先生による綱引き大会には生徒からも大声援が飛んだ。

毎年十月後援会の研修が行われているが、今年は山梨の研修に出かける。山梨の産業、大学施設を中心に見学ができた。なかなかこのような機会でないといまわれない。後援会の研修担当の方ありがとうございます。この研修をきっかけに日本大学の学部見学の話もでてきた。実際にその場にいき雰囲気をつかむことは意義あることと思います。さらに実りある研修となるよう研究していただきたい。楽しみにしております。統一テストを終え三年生は、明誠での学校生活も数ヶ月となる。強歩大会が二月から十二月に変更された。路面凍結が心配で年内に実施となった。後援会の方々の協力で今年もトン汁が振る舞われた。

あの味はこしかでない。伝統の味です。後援会の方が数日前から準備してくれた。今年も学校行事を通じていろいろな出会いがありました。大学は今年創立120周年を迎えました。さらなる飛躍をめざし動き出しました。平成22年には、本校は創設五十周年を迎えます。卒業生は今年度の卒業生をいれ二万人近くになります。各界、各分野でみなさん活躍し、いつも本校生徒に暖かいまなざしを送ってくれています。

世界の経済が揺れ動いて先が見えないまま年を迎えた。景気回復をめざしあらゆる工夫がなされている。政権が交代し成り行きを見守る。一つの流れができると、いっしょに行くものだとあらためて理解させられた。経済回復への道のりは厳しいものがある。環境問題を考慮しながら省エネ型で、こういう時代だからこそ知恵を働かせて切り拓いていかざるをえない。新しい年を迎え下級生は学年が一つあがりますが、次の進路に向け気持ちの切り替えが必要となる。安易な道を求めることなく自分の道は自分で切り拓いていく心構えをもってほしい。終わりになりましたが、一年間後援会の皆様には、あらゆる面で学校を支えてくださり感謝申し上げます。

冒頭に、2010年という節目の年にあたり、日本大学明誠高等学校後援会の皆様には、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

後援会「広報明誠」の発刊にあたり、この場をお借りして、一言、御礼並びに御挨拶申し上げます。

振り返れば、昨年12月に、日本大学人事異動により、あと2日で在職丸3年という当高校を去り、慌しく、新天地である日本大学医学部、駿河台日本大学病院に赴任してまいりました。

思えば、日本大学奉職30有余年、このうちの3年間、当時予期もせず高校運営に参画することになり、大学業務が主であった私には、本当に貴重な時を過ごすことになりました。恵まれた環境の中で、大山矩行学校長の下、後援会長を始め、後援会の多くの皆様に御支援を頂き、また、教育現場では、多様化する生徒を直視し、子供たちを大きく育てることに日々奔走している先生方に接し、感嘆したものであります。そして、すばらしい生徒諸君から与えられた感動は、今でもこころの支えとなっております。

医学部は、大正14年、専門部医学科として



駿河台に創設、翌大正15年に駿河台病院が開設され、爾来、ここ千代田区に、大学病院として脈々と今日に至っております。医療行政を取り巻く環境は衆知のとおり厳しいものがありますが、病院勤務となりまして、見るも聞くも新しいことばかりです。上野原の地で、本当に楽しかった3年間の思い出を胸に、新たな気持ちで邁進しております。

今年は、明誠高等学校創設50周年を迎えることになります。日本大学明誠高等学校後援会のますますの御支援を外からお願いし、御挨拶とさせていただきます。

近くにおいでの際は、是非お立ち寄りください。

時節柄、御健勝を御祈念申し上げます。





平成21年11月16日付け異動で、日本大学明誠高等学校へ着任いたしました。日頃、後援会の方々にはお世話になりまして有難うございます。前任の岡田事務長同様よろしくお願いいたします。

まずは自己紹介から申し上げます。出身は鹿児島県屋久島です。世界遺産に指定され、近年、旅行者が大変多いです。屋久杉が有名ですが、屋久島は1週間に8日分の雨が降るといわれるぐらい高温多湿の場所であり、これに屋久杉の樹脂の特性が起因して、樹齢数千年を生き続けています。ちなみに樹齢1,000年以上を「屋久杉」(それ未満は「小杉」)と言います。

日本大学経済学部を卒業後、法人本部財務部(主計課及び資金課)に勤務(16年)、主に予算・決算、補助金業務を担当しました。その後、文理学部会計課(2年)、櫻丘高等学校事務課(5年)、薬学部会計課及び庶務課(7年)を経験して参りました。高校勤務は2度目となりますが、学校運営では両校に大きな違いがあります。櫻丘高校は文理学部の併設高校であり、学部と連携を保ちながら運営していかなければならないのに対し、明誠高校は単独で運営が可能であることです。言い換えれ

ば、即断即決が可能であり、タイムリーに運営できる強みがあります。責任重大ではありますが、大山校長の下、明誠高校は順調に運営がなされております。

昨年12月12日(土)晴天の下、本校恒例行事である「強歩大会」が開催され、参加させて頂きました。学校を出発し、北側の山道を巡る上り下りのある14Kmの道程でしたが、残り僅かな紅葉を眺め雄大な富士を仰ぎながらの2時間余りはとても楽しい一時でした。そこを生徒達は元気一杯に走り抜けて行きました。その折、後援会の方々による給水・トイレ・道案内そしてゴール直後の豚汁とおにぎりがなんと美味しかったことか、お世話になりまして本当に有難うございました。

明誠高校は、本年10月23日(土)に創設50周年記念式典・祝賀会を挙行政いたします。昭和35年4月に日本大学創立70周年記念事業の一環として開校以来、卒業生19,000有余名を輩出し、卒業生の方々は各界で御活躍されておられます。現在、その準備を進めておりますが、当日は後援会の方々に御協力を頂き、明誠高校らしい式典・祝賀会にしたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

遥かに富士山を眺め、麓には満々と水を湛える相模湖を従え、自然豊かな広大な校地で伸び伸びと勉強にスポーツに打ち込める環境は、とても幸せなことです。温かい教育・指導の先生方、また生徒や学校をバックアップしていただいている後援会の皆様が一丸となって頑張っておられます。私も一生懸命頑張りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

3年間を振り返って

3学年 主任 大桃 淳

桜の花に迎えられ、梅の花に見送られる。今年の3年生も先輩方と同じ経験をしながら、この学校を巣立っていきます。彼らが過ごしたこの3年間は、彼らにとって一生に一度きりの時間ですが、約50年という日大明誠高校の歴史においても、一度きりの出来事です。もう二度と同じメンバーを生徒として受け入れることはありません。そのように思うと、寂しさもひとしおです。今、卒業式を迎えるにあたり、私たち教師の胸のうちにある願いは一つ。「この日大明誠高校で得たものが人生の糧となり、生徒一人ひとりが幸せな人生を送ってくれること」です。

彼らは、平成19年4月に入学をしました。桜の花が綺麗に咲き誇り、体育館で行われたガイダンスの中で、「横長の窓から見える桜もようが、まるで一枚の屏風絵のようだ」と話をしたのを覚えています。また、1学年7クラスという小集団であったため、学年全体のゲームを通して、仲間作りをスタートしたことも、私の中では印象深い出来事でした。

3年間を通して、学年集会は多目的ホールを利用しました。生徒指導上の厳しい話は学年副主任の中川先生が担当し、生徒の成長に合わせて、陥りやすい過

ちに対して厳しい注意を与えながら、生徒の気持ちを引き締めてくれました。その結果、学年主任としての私の話は、「生徒一人ひとりが前向きに人生に取り組みたくなるような話」に終始することができました。

「人は変わるものです。だったら、積極的に良い方向に変わろう。」自分の中にある可能性を信じて、チャレンジしてみることを繰り返し語りました。そして、そのような話を担任の先生方が、学校生活の中で上手に生徒一人ひとりへ伝え続けてくれました。

多少の波はあったものの、学年を追うごとに生徒一人ひとりの様子は、良い方向へと変わって行きました。それに応じて学年全体の雰囲気も、良い方向に変わってきたように感じます。今年度、最上級生として彼らがかかわった文化祭と体育祭が、とてもよい雰囲気の中で実施できたことは、彼らの心の成長の現れであったと思います。

平成22年3月1日、彼らが日大明誠高校を卒業します。生徒・教師・保護者それぞれにとって二度と訪れない貴重な3年間であったと思います。いつの日か、この3年間のことを懐かしく思い出す瞬間がやってくることを、今から楽しみにしています。

1年間を振り返って

2学年 主任 小俣 康信

平成21年4月、2学年としてスタートしてから、あっという間に1年間が過ぎようとしています。文化祭や体育祭、また強歩大会など個々の行事に関する思い出はたくさん残りましたが、何とんでも学校行事最大のイベントは2学年で実施する修学旅行であると思います。

本校はここ数年オーストラリアを実施していますが、この学年はクインズランド州ケアンズを企画し、試みとしてはアクティビティを取り入れ、また、世界遺産2つも含め自然の中でのびのびとした行程を組みゆとりのある修学旅行を実施することができました。

1年間を振り返ってのタイトルですが、2学年としては、何とんでも修学旅行に尽きると思います。今年度の修学旅行について、いくつか記述することにしました。

4月、学年会議や旅行業者との打ち合わせを重ね、

パスポート準備に入ったところで世界的に流行となった新型インフルエンザ発症のニュースが飛び込んだ。7月には保護者の皆様方に文面を持ってご理解をいただき、8月後半にはインフルエンザに関する現地調査を実施しました。その結果、まったく問題はないとの結論に達し、予定通り修学旅行を実施することができました。また、9月26日(土)には保護者の皆様方を対象とした修学旅行説明会を実施し、約200名の保護者の皆様方に来校していただき、有意義な説明会を開催する事ができました。この場をかりましてお礼申し上げます。ご参加いただきました保護者の皆様方の協力に感謝申し上げます。

さて、修学旅行ですが、宿泊地「ザ・レイクス ケアンズリゾート&スパ」という高級コンドミニアムを4日間にわたって連泊し、ここを拠点に観光やアクティビティを楽しみました。この宿舎は宿舎全体がひとつのビレッジになっていて、建物に関して

は間取りも広く豪華なセットも置かれ満足する施設でした。修学旅行生として宿泊するのは本校が最初であり、受け入れ側もさぞかし神経を使ったことと思います。キュランダでは熱帯雨林を体感し、スカイレールや100年以上の歴史を持つ高原列車の旅を満喫しました。世界遺産で知られるグリーン島へはフェリーで渡り、島内自主研修やグラスボトムボートに乗りサンゴ礁や海中の生物を発見しおおいに楽しむ事ができました。また、朝食・夕食の会場は、一流のホテルを使用しての食事に生徒諸君大満足でした。ただオーストラリアのお米だけは生徒諸君「まずい」、「口に合わない」と、日本のご飯を食べたいと言っていたのが印象的でした。ケアンズはア

クティビティの宝庫と言われ、バギーや乗馬体験、ワニファームではクロコダイルを間近に見て感動、バロン溪谷ではわくわくしながらラフティングに参加しスリルを味わい、体験後の生徒諸君からどれも良かった、「最高」と言っていた笑顔が脳裏に焼きついています。最終日、ケアンズ空港では、HIS現地添乗さんはじめスタッフの方々との別れを惜しみながらJQ025便は成田へと飛び立った。

今年度の修学旅行に関しまして、帰着時間が遅くなり、保護者の皆様には最寄の駅まで出迎えをお願いし、大変ご迷惑をかけましたが、保護者の皆様方のご協力により無事帰着できましたことお礼申し上げます。

1年間を振り返って

1学年 主任 坂本 博

平成21年度の入学者は、前年度と同様に定員320名のところ332名の生徒が入学しました。山梨県内の私立学校では軒並み定員割れと言われているなかで、2年連続して定員をオーバーする入学者があったことは、大変喜ばしいことであります。今年の1年生の大きな特徴は、例年になく欠席者が極めて少ないことです。毎日各クラスの出席状況をホワイトボードに記入しますが、各クラスともに欠席だけでなく遅刻や早退もゼロが続いていました。2学期になるとさすがに欠席者なども出てき始めましたが、それでも例年に比べ減少しています。

入学して直ぐに2泊3日の宿泊研修(長野県車山高原)に出掛け、クラスの友好を深めました。ほとんどの生徒が言葉を交わしたこともない級友に話しかけると、直ぐに打ち解けて、まるで以前からの知り合いのようでした。6月には芸術鑑賞教室がパルテノン多摩であり、後半には文化祭、そして7月の全校集会の後に夏期講習がありました。その後8月の夏休みに入り、8日から軽井沢夏季合宿セミナーがありました。日本大学の研修所を使用するため、費用も安く研修所内もとても綺麗で食事も美味しく最高の環境でした。朝晩もとても過ごし易く、心地よい環境の下、丸一日学習に明け暮れました。希望者が50名の定員をオーバーして52名になりましたが、大学にお願いして実施出来ることになりました。勉強合宿の3泊4日もアツと言う間に過ぎてしまった感じ

でしたが、参加した生徒達に聞くと、「来年も必ず参加したい」と話している声を聞くと、私たちもとても嬉しくなってきます。生徒は高校入学後初めての夏休みを十分堪能したようです。クラブ活動で殆んど毎日のように登校していた生徒、クラブの合宿で他県に出掛けた生徒、友人と海水浴などに出掛けた生徒など、それぞれが有意義な夏季休暇を過ごした事でしょう。

9月には、1学期の期末考査もありました。10月には延期になっていた体育祭が開催されました。11月には、2年生の修学旅行がありました。1年生も来年になりますが、オーストラリアへの修学旅行に出掛けます。今から楽しみです。3年生は、最も大事な統一テストがありました。今年は1年生もそうですが、夏前から「インフルエンザ」が流行り出し、心配しましたが修学旅行も統一テストも無事に済み、学校としても安堵しました。もちろん1年生にも少なからず影響があり、1、2年生は学年閉鎖にもなりましたが、現在ではほぼ完治しています。

1年生にとって12月の後半から1月にかけて、大きな選択がありました。それは2年生から文系・理系に分かれるためにどちらかの結論を出さなければならない。家族や先生方のアドバイスを貰い、決して後悔しないような選択をしたい。そして2年生からは自分の希望の進路に向かって学習、スポーツなどに励んで欲しいと願っています。

6月27日(土)、28日(日)に行なわれました明誠高校誠祭において「後援会バザー」「お茶処」を開催いたしました。開催期間中は、好天に恵まれ皆様のスマイル&元気・ご支援・ご協力により大盛況のうちに終えることができました。バザー品を協賛・提供・購入していただきました後援会の皆様、並びに教職員の皆様、また後援会OBの皆様、本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。今年は、景気悪化の影響でバザーの売上げが落ちるのではないか、新しく取り入れた「シュシュ」など売れ行きはどうか心配していましたが、バザー開始後はどの売り場も大盛況でした。最初は知らないもの同士だったお母さん達も、作業の中で仲間意識が芽生えてきて、最後は絶対に盛り上げるぞ！という雰囲気になってくれて、実行委員長やってよかったなあ・・・と本当に嬉しく思いました。改めて「明誠高校後援会」の結束力と行動力に感銘いたしました。明誠高校のバザーは生徒・学校・保護者、そして地域との連携を図ることができる大変素晴らしいイベントです。今年も昨年同様多くの方々に参加、楽しんで頂けてうれしく思います。サービスタイムの時

の熱気はすごかったですね！大変な盛り上がりでした。バザーでの収益は、総額225,135円になりました。

このお金は「強歩大会おにぎり購入費」「生徒会への寄付」などの明誠高校教育活動の充実のために活用させていただきます。

最後になりますが、子供たちが笑顔で元気に、健やかに生活できるように後援会活動を今まで同様、家庭・学校・地域の皆様とともに、さらに開かれた学校・安全・安心な地域づくりを目指して、子どもたちを見守り応援して参りたいと思います。バザー活動は来年、再来年とまだまだ取り組んでいきたいと考えていますので、引き続きご理解とご協力ご支援を何とぞよろしくお願いいたします。



体 育 祭

10月16日



選手宣誓



準備体操



1年 リレー



1年 大縄跳び



2年 棒倒し



3年 騎馬戦



体 育 祭

10月16日



綱引き



綱引き



先生、ファイト！



3年 大縄跳び



3年 徒競走



女子 棒引き



体 育 祭

10月16日



かわいい応援



応援合戦



応援合戦



2年 大縄跳び



1年 玉入れ



3年 障害物



男子 部活対抗リレー

研修部会最大の行事であります「秋季研修会」が10月24日(土)に大山校長先生・小澤会長・各役員・委員・会員等総勢37名の参加を得て、山梨県内の私学及び地場産業関連等の見識を高め、好評裏に無事終了しました。

秋季研修会については、当初昨年同様日本大学公開講座に相乗りして実施する予定でしたが、日本大学公開講座がとりやめとなりました。研修方法決定のため、長年後援会活動を積極的に押し進め学校の信頼も厚く、一昨年度後援会会長を務められた小俣統括副会長に研修部独自に開催する場合の問題点についてお尋ねしたところ、「会場に合った参加者の確保がむずかしい。後援会会員同士の融和が進めば後援会活動もスムーズに運ぶので、互いの親睦をはかるような研修が良いでしょう。例えば、バスで日本大学各学部を見学する。明誠高等学校後援会の方々は都内の方が多いので、山梨県内の見学等、外に出て研修をするのも良いでしょう。」という助言をいただきました。研修部会を3回開き検討し、本年度の秋季研修会はバスを利用して山梨県の産学の見識を高めることとしました。

研修先は交通事情を考慮して、山梨学院大学・山梨県地場産業センター(かいてらす)マンズワイン勝沼ワイナリー・笹一酒造酒遊館・と決定し昼食はフルーツ公園内富士屋ホテルを予定しました。小澤会長と相談し準備作業に入りました。

10月24日予定時間に集合完了、バスは一路山

梨学院大学を目指し予定時間に到着しました。大学は新入生募集で多忙な時期なので案内は辞退し自由見学とさせていただきました。かいてらすでは係員の案内により、三百坪のフロアに約六千点と云う地場産業製品・ワイン・宝石・貴金属・研磨製品・甲州印伝・印章・菓子・食品等を見学、ワインの試飲をしました。その後フルーツ公園内富士屋ホテルに移動し、落ち着いた雰囲気個室でミニランチをいただきました。

勝沼ワイナリーにおいては係員からワインの酒造工程の説明を受け、熟成庫等を見学、数種類のワインの試飲を楽しみました。

笹一酒造においても係員の案内で酒造工程の説明を受け、酒米の六割もそぎ落とすことを聞き美味しい酒造りのこだわりを知りました。試飲コーナーで何種類かの試飲をしました。

近年初めての研修会も予定時間に学校に到着、好評のうちに無事終了しました。このたびの計画遂行にあたり、ご援助ご協力いただきました関係各位に改めて、研修部会一同厚く御礼申し上げます。

解散後の懇親会において、入学直後であれば後援会活動に関心も高く1年の会員の参加が見込まれ、日大各学部見学であれば1・2年会員の参加が見込まれる。という意見がありました。新年度の研修会において今回の新しい形式による研修結果が土台となって発展することを、本年度研修部一同願っております。



強 歩 大 会

12月12日



スタート



がんばれ～!!



給水所



あと少し…



ゴ～ル!!



ん～うまい♡



いかがですか？

『明日は晴れるといいね』と前日準備に参加くださった方々が口々に言っていたが、『雨が降って準備が大変だ』なんていう方は一人もいないという、そんな準備のスタートでした。

大雨のため校庭のコンディションが悪く、スタートとゴールを正門から行う決定がなされ、それに伴い賭いの場所も例年より手前に設置しようということになり、早速それぞれの持ち場につき作業を開始しました。やる気満々の一年生の役員に先輩役員が次々と指示をし、テントやガス釜の設営や野菜の切り込み、こんにゃくの下ごしらえ等、大雨にも関わらず昨年同様予定の時間内で終了したのは、美味しい豚汁を生徒達に食べさせてあげたいという気持ちが通じたのだと思います。

昨日の大雨が嘘のような晴天に恵まれた強歩大会当日、朝早くから多くの後援会役員が集まり、特に三年生の役員が暗い内から仕度を始めてくれたおかげでお湯も早く沸き、スムーズに次の作業に進むことが出来、校長先生・会長・実行委員長の挨拶と進行の説明の後本格的な支援の準備に取り掛かりました。昨日同様一年生の役員は先輩役員の指示の元、汗を

流しながら準備にあたり一つ目の釜の豚汁が仕上がると校長先生に味見をしていただき、「大変美味しく出来ました。」とお褒めの言葉を頂戴して一同大喜びでした。次々と残りの釜も仕上げていき、同時にどんぶりや冷たい麦茶の準備も整いました。そうこうしているうちに四十分たらずで一番の生徒がゴールし、続々とゴールして来たのでテントの中も慌ただしくなりました。汗びっしょりでゴールした生徒が麦茶を飲み干し、美味しそうに豚汁とおにぎりを食べている姿を見ると、とても愛おしくなったのは皆同じだったと思います。昨年同様おにぎりを一人一個ではありますが二年生が担当した六月のバザーの収益金から振舞うことが出来ました。また、コース誘導では野球部の保護者の方々に加え、今年はバレー部とサッカー部の保護者の方々も誘導にあたっていただきました。給水所も先生方と一緒に担当し、声援を送って生徒を励ましていました。

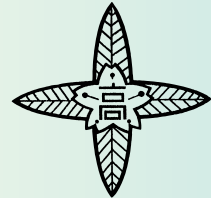
地元の方々の暖かいご声援、OBの方々のご支援、そして二日間で百人を超える保護者、後援会役員の皆様のおかげで事故も無く、無事に終了した事に心から感謝し、ご報告とさせていただきます。

伝統の味「トン汁」



～ お 知 ら せ ～

平成22年度より制服・体操着が変わります。



創設50周年を迎える

本校創設50周年記念式典・祝賀会が平成22年10月23日(土)に举行されます。1年後に迫った現在、記念誌発刊等着々とその準備が進められています。平成12年に創設40周年を祝いましたが来年は半世紀という大きな節目になります。周年事業の一環として校舎等の改修が計画されています。



平成21年度 後援会活動報告

平成21年

- 5月 ・ 後援会定期総会
- ・ 第1回役員会
- 6月 ・ 第2回役員会
- ・ 第1回委員総会・学年別委員会
- ・ 誠祭バザー・お茶処 準備
- ・ 誠祭バザー・お茶処 実施
- 7月 ・ 「広報明誠」発行 88号
- 9月 ・ 祭典パトロール
- ・ 第3回役員会
- 10月 ・ 体育祭
- ・ 後援会秋季研修会
- 12月 ・ 第4回役員会
- ・ 第2回委員総会・学年別委員会
- ・ 強歩大会トン汁 準備
- ・ 強歩大会トン汁 実施

平成22年

- 1月 ・ 賀詞交歓会
- 3月 ・ 卒業式・卒業謝恩会
- ・ 「広報明誠」発行 89号
- 4月 ・ 第5回役員会
- 5月 ・ 後援会定期総会

～編集後記～

平成21年度「広報明誠」も無事最終号の発行となりました。
お忙しい中、原稿をお寄せ下さった先生方・後援会会長・各委員の皆さま有難うございました。
部員一同心より御礼申し上げます。
ご意見・ご要望等がありましたらお知らせ頂ければ今後の参考にさせていただきます。
尚、広報は学校のホームページでもご覧いただけます。

(広報部員一同)